

2015年度第2四半期決算報告書



参考和訳

プレスリリース
2015年7月31日、パリ発

力強い利益成長

内部留保による着実な自己資本の積上げ

全ての事業部門で増収を達成

- 国際金融サービス部門およびホールセールバンキング事業で大幅増収
- 国内市場部門も成長を持続
- 2014年度に実施した買収による好影響が顕在化

事業部門の営業収益：前年同期比 **+12.2%**

営業総利益は大幅増

事業部門の営業総利益：前年同期比 **+13.5%**

高水準の四半期純利益

株主帰属純利益：25億5500万ユーロ
(特別項目を除くと前年同期比 **+13.7%**)

バーゼル3基準エクイティ Tier1 比率およびレバレッジ比率は着実に上昇*

エクイティ Tier1 比率：10.6%
レバレッジ比率：3.7%

* 2015年6月末現在、資本要求指令4（バーゼル3全面適用）の比率。



2015年7月30日にBNPパリバ取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2015年度第2四半期の業績が検討され、また、当上半期に関わる中間決算報告書が承認されました。

力強い利益成長および内部留保による着実な自己資本の積上げ

欧州景気が緩やかに回復するなか、BNPパリバは当四半期に極めて良好な業績を収めました。営業収益は全体で大幅増となり、また全ての事業部門で増収を果たしました。これは、多様性に富む堅固な顧客基盤の上に築かれた、グループの統合ビジネスモデルの強みを証明するものです。

営業収益は当四半期に110億7900万ユーロに上り、前年同期比15.8%の増収となりました。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、+8000万ユーロに上る一時項目が含まれていました。これに対し、前年同期の営業収益に対する一時項目の影響は、合計で-3億5300万ユーロでした。

事業部門合計の営業収益は、当四半期に大幅増となりました（前年同期比+12.2%）。部門別では、国際金融サービス部門が極めて好調で、前年同期比+20.7%と急増しました。ホールセールバンキング事業（CIB）も好業績を収め、前年同期比+15.6%の増収でした。国内市場部門¹の営業収益は当四半期も成長を維持し、前年同期比+2.7%増加しました。また当四半期の営業収益は、2014年度に実施した買収による好影響を享受しています。

営業費用は当四半期に70億8300万ユーロとなり、前年同期比11.2%増加しました。当四半期の営業費用には、一時的要因として、Simple & Efficient計画に関わる変革費用に加え、2014年度の買収に関わる事業再編費用からの影響が合計で2億1700万ユーロ含まれていました（前年同期の一時費用は1億9800万ユーロ）。営業収益対コスト比率は当四半期に著しく改善し（2.6ポイントの低下）、63.9%となりました。

事業部門合計の営業費用は前年同期比11.4%増加しましたが、全体として正のジョーズ効果（0.8ポイント）を生み出しました。部門別では、営業費用は国内市場部門¹で2.3%増加し、国際金融サービス部門で20.7%増加するとともに、CIBでは13.3%増加しました。

営業総利益は当四半期に前年同期比24.8%増加し、39億9600万ユーロに上りました。また、事業部門合計では、前年同期比13.5%増加しました。

グループのリスク費用は当四半期に前年同期比5.6%増加し、9億300万ユーロとなりました（融資残高の51bpに相当）。これには2014年度に実施した買収に起因する、連結範囲の変更²が影響していました。かかる影響を除くと、リスク費用は前年同期から僅かに減少していました。

営業外損益は、当四半期に5億9200万ユーロの利益となりました。これにはクレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲインに加え、合併後のクレピエール＝コリオに対する7%の持分を売却したことによる譲渡益が合計で4億2000万ユーロ含まれており、これらが大きく貢献しています。対して、前年同期の営業外損益は1億5400万ユーロの利益でした。

なお前年同期において、グループが、米司法当局との包括的和解に関わる費用として、合計で59億5000万ユーロを計上したことは留意に値します。

以上から、当四半期の税引前利益は36億8500万ユーロに上り、これに対し前年同期は-34億5000万ユーロでした。事業部門全体では、当四半期の税引前利益は前年同期と比べて18.2%の増益を果たしました。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）。

² 連結範囲の変更による影響は6800万ユーロ。



これらを受けて、株主帰属純利益は当四半期に 25 億 5500 万ユーロに上りました（前年同期は-42 億 1800 万ユーロ）。なお、一時項目を除くと当四半期の株主帰属純利益は+13.7%と急回復しており、グループの業績が極めて好調であったことを示しています。

2015 年 6 月末現在、バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹は 10.6%となり、2015 年 3 月末の水準から 30bp 上昇しました。また、バーゼル 3 基準全面適用のレバレッジ比率²は 3.7%に達していました（2015 年 3 月末から+30bp）。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は、2015 年 6 月末現在で 2900 億ユーロに上っており（2014 年 12 月末現在は 2910 億ユーロ）、これは短期資金調達との関係で 1 年以上の余裕資金があることを意味します。

1 株当たり純資産額は 2015 年 6 月末現在で 68.8 ユーロとなりました。これは 2008 年 12 月末からの年平均成長率が 6.5%に達したことを意味し、グループの景気サイクルを通じた価値創造能力を表しています。

さらに、グループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、引き続き内部統制およびコンプライアンス体制の強化を押し進めています。

*
* *

2015 年度上半期において、営業収益は 221 億 4400 万ユーロに上り、前年同期比 13.7%の増収となりました。当上半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、+1 億 1700 万ユーロに上る一時項目が含まれていました。これに対し、前年同期の営業収益に対する一時項目の影響は、合計で -1 億 1600 万ユーロでした。

事業部門合計の営業収益は当上半期に前年同期比+13.0%と急増し、グループの業績が極めて好調であったことを物語っています。部門別では、国内市場部門³で+2.5%の増収となり、国際金融サービス部門では+20.5%の増収、さらに CIB では+19.7%の増収を果たしました。

営業費用は当上半期に 148 億 9100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 13.1%増加しました。当上半期の営業費用には、一時費用として、Simple & Efficient 計画に関わる変革費用に加え、2014 年度の買収に関わる事業再編費用からの影響が合計で 3 億 4700 万ユーロ含まれていました（前年同期の一時費用は 3 億 4000 万ユーロ）。当上半期の営業費用にはまた、破綻処理基金への初回拠出金による影響として 2 億 4500 万ユーロ⁴が含まれていました。なお、IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の解釈に基づき、2015 年度に必要と推定される拠出金の全額を 2015 年度第 1 四半期に計上しました。

事業部門合計の営業費用は当上半期に前年同期と比べて 11.0%増加しましたが、全体として正のジョーズ効果（2 ポイント）を生み出しました。部門別では、営業費用は国内市場部門³で 1.7%増加し、国際金融サービス部門で 20.6%増加するとともに、CIB では 13.4%増加しました。

営業総利益は当上半期に前年同期比 14.8%増加し、72 億 5300 万ユーロに上りました。また、事業部門合計では、16.7%の増加を果たしました。

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

² 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を算入可能な項目に置き換えた算定方法を含め、2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

³ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）。

⁴ フランスのシステミックリスク税通減分相殺後の推定値。



グループのリスク費用は当上半期に+0.4%と若干増加し、19億4700万ユーロとなりましたが、これは2014年度に実施した買収による連結範囲変更の影響を受けています¹。かかる影響を除くと、リスク費用は当上半期に減少しました。なお、2014年度上半期のリスク費用には、東欧の非常事態を受けて設定された貸倒引当金の一時費用1億ユーロが含まれていました。

当上半期の営業外損益は、9億3100万ユーロの利益となりました。これにはとりわけ、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲインに加え、合併後のクレピエール＝コリオに対する7%の持分を売却したことによる譲渡益が合計で4億8700万ユーロ含まれており、さらに、非戦略的な投資先の持分売却により生じた譲渡益9400万ユーロ²が大きく貢献しています。これに対し、2014年度上半期の営業外損益は、2億5000万ユーロの利益でした。

なお、グループは2014年度上半期において、米司法当局との包括的和解に関わる費用として、総額59億5000万ユーロを別途計上しました。

これらを受けて当上半期の税引前利益は62億3700万ユーロとなりました（2014年度上半期は-13億2000万ユーロ）。事業部門合計の税引前利益は、前年同期と比べて+26.8%の急回復を遂げました。

以上から、当上半期の株主帰属純利益は42億300万ユーロに上りました（2014年度上半期は-28億1500万ユーロ）。なお、一時項目からの影響を除くと、当上半期の株主帰属純利益は前年同期比+14.1%の大幅増益となり、グループの業績が極めて好調であったことを物語っています。また、一時項目を排除した自己資本利益率（ROE）は、当上半期に10.1%となりました。

*
* *

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

欧州では借入需要が緩やかに回復するなかであって、国内市場部門の融資残高は当四半期に前年同期比1.5%増加しました。一方、預金残高は前年同期比6.3%増加しました。ドイツのDAB銀行買収の影響を除くと、預金残高は前年同期比4.3%増加しましたが、とりわけフランスおよびベルギーで高い伸びを示しました。国内市場部門による意欲的な販売およびマーケティング活動の成果は、特にフランス、イタリアおよびベルギーにおいてプライベート・バンキング業務の運用資産残高が引き続き伸びたことに加え（2014年6月末の水準から6.5%増加）、BNPパリバ・ファクターが2年連続で「最優秀輸出入ファクタリング会社」に選ばれたことにも現れています。

営業収益³は当四半期に40億1700万ユーロとなり、前年同期と比べて2.7%の増収でした。ベルギー国内リテールバンキング（BRB）および専門的金融業務（個人投資家部門、アルバル、およびリーシング・ソリューションズ）が高い伸びを示した一方、長引く低金利環境の影響がこれを一部打ち消す格好となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は当四半期に前年同期比1.9%増加しました。

当四半期の営業費用³は24億2600万ユーロとなり、前年同期と比べて2.3%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、専門的金融業務の開発費用が引き続き負担となったにも関わらず、継続的なコスト抑制努力のおかげで営業費用の増加幅は1.0%に留まりました。これを受けて国内市場部門で0.9ポイントの正のジョーズ効果が生み出されました。

¹ 連結範囲変更による影響は1億4200万ユーロ。

² CIBのコーポレートバンキング部門へ7400万ユーロを配分し、コーポレート・センターへ2000万ユーロを配分。

³ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む。



その結果、営業総利益¹は当四半期に15億9100万ユーロとなり、前年同期と比べて3.4%増加しました。

リスク費用は、イタリアでの穏やかな低下を始めとして、全体的に減少しました。以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を国内市場部門からウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期の税引前利益²は10億9300万ユーロに上り、前年同期比+13.9%の大幅増益となりました³。

2015年度上半期において、営業収益¹は80億3900万ユーロとなり、前年同期比2.5%の増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%）。BRBおよび専門的金融業務（個人投資家部門、アルバル、およびリーシング・ソリューションズ）が高い伸びを示した一方、長引く低金利環境の影響がこれを一部打ち消す格好となりました。営業費用¹は当上半期に50億9900万ユーロとなり、前年同期比1.7%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、継続的なコスト抑制努力のおかげで、営業費用の増加幅は0.4%に留まりました。これを受けて国内市場部門の営業収益対コスト比率は、当上半期に0.5ポイント改善し63.4%¹へと低下しました。営業総利益¹は当上半期に29億4000万ユーロとなり、前年同期比4.0%増加しました。リスク費用は、イタリアでの低下を始めとして、全体的に穏やかに減少しました。以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を国内市場部門からウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当上半期の税引前利益²は18億7000万ユーロに上り、2014年度上半期と比べて+15.4%の大幅増益を果たしました。

フランス国内リテールバンキング (FRB)

法人および個人顧客セグメントの借入需要が緩やかに回復するなか、フランス国内リテールバンキング (FRB) 部門の融資残高は、当四半期に前年同期比0.8%の伸びを示しました。預金残高は引き続き順調に伸び（前年同期比+3.6%）、とりわけ当座預金がこれを牽引しました。オフバランス貯蓄商品は着実に伸び、特に生命保険残高が2014年6月末の水準と比べて4.7%増加しました。また、プライベート・バンキング業務の運用資産残高は当四半期に875億ユーロに上り、フランス国内でNo.1の地位を確認しました。

営業収益⁴は当四半期に16億7700万ユーロとなり、前年同期と比べて2.0%の減収でした。純利息収入は前年同期比5.9%減少しましたが、これには長引く低金利環境が影響していました（預金のマージン縮小や、住宅ローンの借り換えに伴うマージン縮小など）。一方、手数料収入は、オフバランス貯蓄商品が健闘したことや、顧客条件の段階的な調整が功を奏し、前年同期比3.8%増加しました。

業務効率改善策が引き続き効果を発揮したおかげで、営業費用⁴は当四半期に前年同期比0.1%減少しました。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期に6億600万ユーロとなり、前年同期比5.3%減少しました。

リスク費用⁴は依然として低水準に留まり、融資残高の24bp相当でした。また、前年同期と比べて1600万ユーロ減少しました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益は当四半期に4億7600万ユーロとなり、前年同期と比べて5.2%の減益でした²。

¹ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む。

² PEL/CELの影響を除く。

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.1%。

⁴ PEL/CELの影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む。



2015年度上半期において、営業収益¹は33億6000万ユーロとなり、前年同期比2.1%の減収でした。純利息収入は、長引く低金利環境の影響を受けて当上半期に4.7%減少しました。一方、手数料収入は1.7%増加しました。確かなコスト管理のおかげで、当上半期の営業費用¹は前年同期比0.3%減少しました。営業総利益¹は当上半期に11億5900万ユーロとなり、前年同期比5.4%減少しました。当上半期のリスク費用¹は前年同期から3500万ユーロ減少しました。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益²は当上半期に9億ユーロとなり、2014年度上半期と比べて-4.4%の減益でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) は、事業環境が穏やかに改善するなか、引き続きビジネスモデルの調整を行いました。

融資残高は、個人向け貸出は増加したものの、法人顧客および小規模事業者セグメントの最上位層の選別の見直しを継続したことから、当四半期に前年同期比1.0%減少しました。預金残高は、特に個人客の預金が伸びたことから、当四半期に0.4%増加しました。BNL bcは引き続きオフバランス貯蓄商品の開発を押し進めた結果、2014年6月末の水準から目覚ましい成長を遂げ、生命保険残高は11.8%増加し、またミューチュアルファンドの残高は29.2%の伸びを果たしました。さらに、プライベート・バンキングでは当四半期も積極的な営業活動を展開したことから、運用資産残高は2014年6月末と比べて10.4%増加しました。

営業収益³は、当四半期に前年同期と比べて2.7%減少し、7億9100万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比5.8%減少しましたが、これには先述のように上位法人顧客向け融資の見直しをしたことに加え、低金利環境が影響していました。手数料収入は、オフバランス貯蓄商品の好調により残高が増加した結果、当四半期に3.5%増加しました。

営業費用³は、不動産プロジェクトによる一過性の影響から、当四半期に1.9%増加して4億3900万ユーロとなりました。かかる影響を除くと、当四半期の営業費用は前年同期から安定推移しました。

これらを受けて営業総利益³は当四半期に3億5200万ユーロとなり、前年同期比7.9%減少しました。

当四半期のリスク費用³は、融資残高の166bp相当で依然として高い水準でしたが、それでも前年同期と比べて-4600万ユーロと穏やかに減少しました。その背景には貸出ポートフォリオの質が徐々に改善していることがあり、低クオリティ融資の設定が大幅に減少していることに裏打ちされています。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に2300万ユーロに上り、前年同期と比べて1300万ユーロ増加しました。

2015年度上半期において、営業収益³は前年同期比2.3%減少して15億9300万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比4.9%減少しましたが、これには上位法人顧客向け融資の見直しをしたことに加え、低金利環境が影響していました。一方、手数料収入はオフバランス貯蓄商品が極めて好調に伸びたことから、当上半期に3.3%増加しました。営業費用³は前年同期から0.6%増加し、8億9200万ユーロとなりました。これらを受けて営業総利益³は当上半期に7億100万ユーロとなり、前年同期から5.8%減少しました。ただしリスク費用³は、前年同期と比べて-8900万ユーロの穏やかな減少を果たしました。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当上半期に4000万ユーロに上り、2014年度上半期と比べて3900万ユーロ増加しました。

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む。

² PEL/CEL の影響を除く。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む。



ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に極めて良好な業績を収めました。融資残高は、とりわけ個人向けおよび法人顧客向け貸出が伸びたことから、当四半期に前年同期比 3.4%増加しました。一方、預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し前年同期と比べて 4.1%増加しました。当部門はまた、オフバランス貯蓄商品でも好業績を上げ、ミューチュアルファンドの残高は 2014 年 6 月末の水準から 20.5%増加しました。

営業収益¹ は前年同期と比べて 8.4%の増収となり、8 億 9100 万ユーロに上りました。純利息収入は、とりわけ融資残高の増加に加えマージンが底堅く推移したことから、前年同期比 6.5%増加しました。手数料収入は、金融取引に関わる手数料が極めて好調であったおかげで、当四半期に 14.1%増加しました。

当四半期の営業費用¹ は 5 億 6400 万ユーロとなりましたが、業務効率改善策が奏功し前年同期から安定推移しました。

営業総利益¹ は当四半期に 3 億 2700 万ユーロに上り、前年同期と比べて+26.7%の大幅増を果たしました。

リスク費用¹ は、当四半期に融資残高の 1 bp 相当で特に低い水準となり、また前年同期と比べて 1300 万ユーロ減少しました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 3 億 1200 万ユーロに上り、前年同期比+38.1%の躍進を遂げました。

2015 年度上半期において、営業収益¹ は前年同期比 7.3%の増収となり、17 億 8500 万ユーロに上りました。純利息収入は、融資残高の増加に加えマージンが底堅く推移したことが主に貢献し、前年同期比 5.1%増加しました。手数料収入は、金融取引およびクレジット商品に関わる手数料業務が非常に高い成果を上げたことから、13.9%増加しました。営業費用¹ は当上半期に 12 億 9200 万ユーロとなり、前年同期から 0.2%の若干の増加に留まりました。その背景には、業務効率改善策が奏功し、7.1 ポイントに上る正のジョーズ効果が生み出されたことがあります。営業総利益¹ は当上半期に 4 億 9300 万ユーロとなり、前年同期と比べて+31.5%の大幅増となりました。リスク費用¹ は当上半期に極めて低水準に留まり、前年同期から 3200 万ユーロ減少しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、BRB の税引前利益は当上半期に 4 億 1200 万ユーロに上り、2014 年度上半期と比べて 1 億 3700 万ユーロの急増を果たしました。

その他国内市場部門 (アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテール・バンキング)

その他国内市場部門の専門的金融業務は、当四半期も意欲的に事業展開を押し進めました。アルバルでは、ファイナンス・フリートの車両数が前年同期比 7.0%増加して 746,000 台に上りました。個人投資家部門では、預金残高が前年同期比+74.2%の激増を遂げました。なお、DAB バンクの買収による効果を排除し、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いても、預金残高は前年同期比+25.6%の大幅増となりました。これには新規顧客の獲得が高水準で推移したことに加え、ドイツで Hello bank! が成功を収めたことが貢献しています。リーシング・ソリューションズでは、コアポートフォリオの残高が順調に伸びた一方で、ノンコア資産の継続的な削減がこれを相殺しました。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンおよび法人向け貸出の伸びに支えられ、融資残高が前年同期比 3.2%増加しました。預金残高は、法人顧客セグメントで高い資金流入があったことから、当四半期に 3.2%増加しました。

その他国内市場部門全体の営業収益¹は、ドイツの DAB バンク買収による効果を含めると、当四半期に前年同期比 16.9%の増収となり、6 億 5800 万ユーロに上りました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は全ての部門で増収となったことから、前年同期比 10.5%増加しました。

営業費用¹は当四半期に前年同期比 15.8%増加して 3 億 5200 万ユーロとなりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用の増加幅は事業開発の進捗に伴うかたちで+5.2%に留まり、全体として正のジョーズ効果を生み出しました。

当四半期のリスク費用¹は前年同期から安定推移し、2500 万ユーロとなりました。

全体では、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期に 2 億 8200 万ユーロに上り、前年同期と比べて+27.0%の急増を果たしました。

2015 年度上半期において、営業収益¹は、ドイツの DAB バンク買収による効果を含めると、前年同期比 16.7%の増収となり、13 億 100 万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は 9.7%の増収でした。これには、全ての部門で収益が高い伸びを示したことに加え、とりわけアルバルの増収が寄与していました。営業費用¹は当上半期に前年同期比 13.2%増加して 7 億 1400 万ユーロとなりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用の増加幅は 2.9%に留まり、全体的に正のジョーズ効果を生み出しました。当上半期のリスク費用は¹前年同期から 300 万ユーロ増加して 7200 万ユーロとなりました。全体では、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当上半期に 5 億 1800 万ユーロに上り、2014 年度上半期と比べて 28.5%の大幅増益となりました。

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、以下のように、当四半期において極めて高い成果を上げました。パーソナル・ファイナンス部門は国際的な事業開発を継続し、新たな提携関係を構築しました。欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは、意欲的に事業展開を押し進めました。保険、および ウェルス&アセット・マネジメントでは、運用資産残高が 2014 年 6 月末の水準から +10.2%と大幅に増加しました。国際金融サービス部門はまた、2014 年度に以下の 2 件の買収を実施した後、これらの事業統合で大きな成果を上げました：すなわち、欧州・地中海沿岸諸国部門による BGZ（食糧経済銀行）の買収、およびパーソナル・ファイナンス部門による LaSer の完全子会社化です。

当四半期の営業収益は、全ての部門で力強い成長を果たしたことから 38 億 8000 万ユーロに上り、前年同期比 20.7%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.4%）。

営業費用は当四半期に 22 億 9000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 20.7%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、積極的な事業開発に沿うかたちで、営業費用は当四半期に 5.8%増加しました。

¹ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



これらを受けて、営業総利益は当四半期に 15 億 9000 万ユーロに上り、前年同期比 20.7%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.9%）。

リスク費用は当四半期に 4 億 3300 万ユーロとなり、前年同期の低い水準と比べて 35.7%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.2%）。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に 12 億 8700 万ユーロに上り、前年同期比 +16.1%の大幅増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.0%）。

2015年度上半期において、営業収益は、全ての部門で伸びたことから 76 億 900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 20.5%の増収を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.9%）。営業費用は当上半期に 46 億 7000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 20.6%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業開発の順調な進捗に沿うかたちで、営業費用は当上半期に 5.0%増加しました。営業総利益は当上半期に 29 億 3900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 20.4%の増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.8%）。リスク費用は当上半期に 8 億 9500 万ユーロとなり、前年同期と比べて 24.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.0%）。以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当上半期に 22 億 8500 万ユーロに上り、2014 年度上半期と比べて 18.8%の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+8.2%）。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も以下のように事業開発を押し進めました。銀行業界においては、スペインで BCC-Grupo CajaMar と、またイタリアで Poste Italiane と、新たな提携関係の構築を実施しました。また、自動車ローン業務も力強い成長を達成し、当四半期の自動車ローン残高は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いて、前年同期比 7.9%の増加を果たしました。

融資残高は、とりわけ LaSer の完全子会社化が寄与し、当四半期に全体として前年同期比 24.1%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、当四半期の融資残高は、ユーロ圏における借入需要の緩やかな回復を受けて、前年同期比 3.5%増加しました。

営業収益は当四半期に前年同期比 26.7%の増収となり、11 億 8200 万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、当四半期の営業収益は、ドイツ、イタリアおよびスペインでの増収が牽引し、前年同期比 1.8%増加しました。

営業費用は当四半期に 5 億 7100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 29.8%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、当四半期の営業費用は、事業開発の進捗に伴い 2.1%増加しました。

これらを受けて、当四半期の営業総利益は 6 億 1100 万ユーロに上り、前年同期比 23.9%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%¹）。

リスク費用は、当四半期に前年同期と比べて 4000 万ユーロ増加し、2 億 8900 万ユーロとなりました（融資残高の 205bp 相当）。なお、LaSer の買収に関わる連結範囲の変更による影響（+3800 万ユーロ）を除くと、リスク費用は前年同期から安定推移しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に 3 億 3900 万ユーロに上り、前年同期比 24.2%の増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.5%）。

¹ LaSer を 2014 年度第 2 四半期財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理。



2015年度上半期において、営業収益は前年同期比 27.2%の増収を果たし、23億 6500万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、営業収益はドイツ、イタリアおよびスペインが牽引し、1.4%の増収となりました。営業費用は、当上半期に前年同期比 31.2%増加し 11億 6200万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、当上半期の営業費用は、事業開発の進捗に伴い 1.7%増加しました。リスク費用は、前年同期と比べて 5300万ユーロ増加し、5億 8000万ユーロとなりました。なお、LaSer の買収に関わる連結範囲の変更による影響（+8800万ユーロ）を除くと、リスク費用は前年同期から 3500万ユーロ減少しました。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当上半期に 6億 5500万ユーロに上り、2014年度上半期と比べて 33.9%の増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+19.8%¹）。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、活発な販売およびマーケティング活動を維持するとともに、引き続き業務の開発を押し進めました。融資残高は当四半期に前年同期比 13.8%²増加し、とりわけトルコおよびポーランドがこれを牽引しました。預金残高は前年同期比 11.0%²増加しましたが、やはりトルコおよびポーランドが牽引役となりました。業務開発の成果は、とりわけ以下の分野で顕著に現れました：トルコで CIB との間でクロスセリングが活発化し、営業収益が前年同期比 4.2%²増加しました；プライベート・バンキングでは運用資産残高が 2014年 6月末の水準から 23%増加し、43億ユーロに上りました。

当四半期の営業収益³は、取引の増加に伴い 6億 5800万ユーロに上り、前年同期比 17.1%²の増収を果たしました。

営業費用³は当四半期に 4億 1000万ユーロとなり、前年同期比 5.7%²増加しました。

リスク費用³は穏やかな水準に留まり、1億 800万ユーロで、融資残高の 108bp 相当となりました。当四半期のリスク費用は、低水準であった前年同期と比べると 4700万ユーロ²増加しました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1億 8000万ユーロに上り、前年同期比 16.3%²の大幅増益を果たしました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合、当四半期の税引前利益は、顕著な為替効果を受けて 42.9%の増益になりました。

2015年度上半期において、営業収益³は 12億 5800万ユーロに上り、前年同期比 15.2%²の増収となりました。これは取引の増加に沿うものであり、欧州・地中海沿岸諸国部門の意欲的な営業活動を反映しています。営業費用³は当上半期に 8億 6400万ユーロとなり、前年同期比 7.1%²増加しましたが、これには主にトルコにおいて支店網の強化を図ったことが影響していました。リスク費用³は当上半期に 2億 5900万ユーロとなり、前年同期と比べて 7700万ユーロ²増加しました。営業外損益は、関連会社からの高い利益貢献を受け、中でもアジアの関連会社が極めて好調でしたが、その結果、当上半期に 8300万ユーロの利益となり、前年同期と比べて 50.9%の増加を果たしました。以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当上半期に 2億 1700万ユーロに上り、2014年度上半期と比べて 18.9%²の大幅増益となりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合、当上半期の税引前利益は、顕著な為替効果を受けて 49.7%の増益になりました。

¹ LaSer を 2014 年度上半期財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理。

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。

³ トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む。



バンクウエスト

バンクウエストは、米国の良好な経済環境を背景に力強い事業展開を押し進めました。融資残高は、法人向け融資および消費者ローンが引き続き伸びたことから、当四半期に前年同期比 6.6%¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期比 5.4%¹ 増加しました。バンクウエストは引き続きプライベート・バンキング業務の開発を押し進めた結果、2015年6月末現在の運用資産残高は95億米ドルに上り、2014年6月末の水準と比べて20%の増加を果たしました。

営業収益²は、特に取引の増加に支えられて当四半期に7億2800万ユーロに上り、前年同期比9.4%¹の増収となりました。

当四半期の営業費用²は4億6500万ユーロとなり、前年同期比12.2%¹増加しました。これには主に規制コストの上昇が影響していました（包括的資本分析およびレビュー（Comprehensive Capital Analysis and Review：CCAR）、および中間持ち株会社（Intermediate Holding Company）の設立）。かかる影響を除くと、営業費用の増加幅は5.8%¹になりました。その主な要因として、営業体制の強化（プライベート・バンキングおよび消費者金融業務）が負担となった一方で、支店網の合理化による経費節減効果がこれを一部軽減したことが挙げられます。

リスク費用²は当四半期も極めて低い水準に留まり、融資残高の11bp相当でした（前年同期から安定推移）。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に2億4600万ユーロに上りました。前年同期の税引前利益との比較では、為替レート変動による影響を除く場合、当四半期に6.7%の増益となりました。一方、為替レート変動による影響を含めた場合、ユーロに対するドル高が進んだことから、前年同期比33.7%の増益でグループの業績に貢献しました。

2015年度上半期において、営業収益²は、特に取引の増加に伴い13億9200万ユーロに上り、前年同期と比べて7.8%¹の増収となりました。営業費用²は、とりわけ規制コストの上昇が負担となったことから、当上半期に9億4000万ユーロとなり、前年同期比10.3%¹増加しました。規制コスト上昇による影響を除くと、当上半期の営業費用は前年同期から4.3%¹増加しました。その主な要因として、プライベート・バンキングおよび消費者金融業務の体制強化が負担となった一方で、支店網の合理化による経費節減効果がこれを一部軽減したことが挙げられます。リスク費²は当上半期に3500万ユーロとなり、依然として低い水準でしたが、2014年度上半期と比べると800万ユーロ増加しました。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当上半期に4億1700万ユーロとなり、為替レート変動による影響を除くと前年同期比2.3%の増益でした（なお、決算日が為替レートにより換算すると+29.1%）。

保険、ウェルス&アセット・マネジメント

保険、ウェルス&アセット・マネジメントでは、運用資産残高の高い伸びに加え、全ての業務部門で純資金流入があったことに支えられて、全体的に好業績を収めました。

運用資産残高³は当四半期に急増し、2015年6月末現在で9490億ユーロに上りました（2014年6月末の水準と比べて+10.2%）。また、運用資産残高は特に以下の要因により、2014年12月末の水準から550億ユーロ増加しました。すなわち、株式相場の上昇傾向と低金利環境のおかげで、運用パフォーマンス効果が+267億ユーロ生み出されたことに加え、ユーロ下落の影響で為替効果が+135億ユーロ生じました。また、当四半期において全体で+139億ユーロに上る純資金流入がありました。これを部門別にみると、ウェル

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。

² 米国プライベート・バンキングの100%を含む。

³ 分配金を含む。



ス・マネジメントでは、国内市場およびアジアで非常に高い資金流入があり、保険部門では、フランス、イタリアおよびアジアで純資金流入が持続し、さらにアセット・マネジメントでは分散投資型のファンドが資金を呼び込みました。

2015年6月末現在、運用資産残高¹の内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは3870億ユーロ；ウェルス・マネジメントは3310億ユーロ；保険部門は2100億ユーロ；不動産管理部門は210億ユーロ。

保険部門では、事業の順調な成長に伴い当四半期の営業収益は5億5700万ユーロに上り、前年同期比4.1%の増収となりました。営業費用は、事業開発の進捗に伴い当四半期に2億7400万ユーロとなり、前年同期比8.3%増加しました。当四半期の税引前利益は3億3600万ユーロに上ったことから、前年同期と比べて7.0%の増益を果しました。

ウェルス&アセット・マネジメントでは、当四半期の営業収益が7億6600万ユーロに上り、前年同期比5.5%の増収となりました。これにはとりわけ、ウェルス・マネジメントが国内市場およびアジアで高い成績を上げたことに加え、アセット・マネジメントが国内市場で増収を取めたことが貢献していました。営業費用は、継続的な事業開発投資が特に負担となり、当四半期は5億7900万ユーロで前年同期から9.5%増加しました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に1億8600万ユーロとなり、前年同期と比べて12.3%の減益でした。

2015年度上半期において、保険部門の営業収益は、事業の成長に加え金融市場の活況に支えられて11億2700万ユーロに上り、前年同期比5.8%の増収となりました。営業費用は、事業が持続的な成長を遂げるなか特に海外での成長が著しく、当上半期に5億7900万ユーロとなり、前年同期比7.2%増加しました。その結果、保険部門の税引前利益は当上半期に6億4000万ユーロに上り、前年同期比8.5%の増益を果しました。一方、ウェルス&アセット・マネジメントの営業収益は、当上半期に14億8900万ユーロに上り、前年同期比5.4%の増収でした。その主な要因として、国内市場およびアジアでウェルス・マネジメントが高い成績を上げたことに加え、アセット・マネジメントが2014年度上半期の高水準と比べても増収を達成したことがありました。営業費用は、継続的な事業開発投資の負担が特に影響し、当上半期に11億4200万ユーロとなり、前年同期と比べて7.6%増加しました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当上半期に3億5600万ユーロとなり、前年同期比5.3%の減益でした。

*
* *

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) は、当四半期も極めて高い業績を上げました。全ての部門で顧客業務が伸びた結果、営業収益は当四半期に30億4800万ユーロに上り、前年同期比15.6%の増収となりました。

グローバルマーケット部門の営業収益は、当四半期に16億1300万ユーロで前年同期比24.5%の増収を果しました（なお、2014年度第2四半期に導入されたFVA²の影響を除くと+10.3%の増収）。金融政策に関わる不透明感やギリシャのユーロ圏離脱に関する緊張を受けて、フィクスト・インカム業務には不安定な市場環境となったにもかかわらず、株式相場には恵まれた状況であったため、グローバルマーケットの業務は当四半期も高水準を持続しました。市場リスクを測定するバリュエーション・アット・リスク (VaR) は、当四半期も低い水準に留まりました (3700万ユーロ)。株式およびプライムサービス業務の営業収益は、当四半期に6億2100万ユーロに上り、前年同期比22.2%の増収を果しました。これにはフロー業務の取引が高水

¹ 分配金を含む。

² Funding Valuation Adjustment (調達評価調整)。



準を維持したことに加え、仕組商品の需要が強かったことが貢献しました。FICC's¹（債券・為替・コモディティ）業務の営業収益は当四半期に 9 億 9200 万ユーロに上り、前年同期比 4.0%²の増収となりました。これには為替およびコモディティ業務の高い伸びが貢献しましたが、その一方で金利およびクレジット業務には不安定な市場環境となりました。それでも、金利およびクレジット業務は、当四半期に、ユーロ建て全債券で No. 2 につけ、また全国際債券で No. 9 にランクインしました。

証券管理部門の当四半期の営業収益は、好調な業務を背景に 4 億 7600 万ユーロに上り前年同期比 14.4%の増収となりました。預り資産残高は前年同期から 17.8%増加し、また約定件数は前年同期比 19.3%増加しました。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、当四半期に 9 億 5900 万ユーロに上り、前年同期比 3.8%の増収でした。北南米では事業開発が順調に進み、営業収益は高い伸びを示しました。一方、欧州およびアジアパシフィックでは、エネルギーおよびコモディティ業務の縮小がありました。その他の部門では当四半期も順調に業務展開しました。融資残高は当四半期に 1260 億ユーロとなり、前年同期比 17.0%増加しました。預金残高は、国際的なキャッシュマネジメント業務の発展がとりわけ貢献し、当四半期に 930 億ユーロに上ったことから、前年同期比 27.0%の大幅増となりました。また、BNP パリバは当四半期に、プロジェクトファイナンス、輸出ファイナンス、およびメディア・テレコム分野において高い業績を収めるとともに、欧州におけるエクイティリンク債の発行で No. 1 の地位を獲得しました。

CIB の営業費用は当四半期に 20 億 6400 万ユーロに上り、前年同期比 13.3%増加しました。これにはドル高が影響しており、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、増加幅は 3.1%でした。また、米国において包括的資本分析およびレビュー（Comprehensive Capital Analysis and Review : CCAR）および中間持ち株会社（Intermediate Holding Company）の設立が要求されたことにより、規制コストの高止まりも影響しました。

CIB のリスク費用は当四半期に極めて低水準に留まり（1400 万ユーロ）、前年同期から 2500 万ユーロ減少しました。これには特に、コーポレートバンキング部門で貸倒引当金繰入額を戻入益の方が上回ったことが影響していました。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 10 億 300 万ユーロに上り、前年同期と比べて 26.2%の大幅増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.4%）。

2015 年度上半期において、CIB の営業収益は、全ての業務部門で大幅増収となった結果、全体では前年同期比 19.7%増加して 63 億 9400 万ユーロに上りました。グローバルマーケット部門³の営業収益は前年同期比 26.6%の増収となりました。これには FICC 業務（+17.8%²）および、株式およびプライムサービス業務（+22.9%）の大幅増収が貢献していました。証券管理部門の営業収益は、積極的な業務開発に支えられて、当上半期に前年同期比 16.4%増加しました。コーポレートバンキング部門の営業収益は、当上半期に前年同期比 9.8%増加しました。これには、エネルギーおよびコモディティ部門の縮小があったにも関わらず、北南米で業務の成長が持続したことに加え、アジアパシフィックおよび欧州でも事業が伸びたことが貢献しました。CIB の営業費用は当上半期に 43 億 3000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 13.4%増加しました。その主な要因として、ドル高の影響（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.1%）や規制コストの大幅上昇が挙げられます。CIB のリスク費用は当上半期に低水準に留まり（1 億 1000 万ユーロ）、前年同期から 2500 万ユーロ減少しました。以上から、非戦略的投資先に対する持分の売却から生じた一過性のキャピタルゲイン 7400 万ユーロを計上した後、CIB の当上半期の税引前利益は 21 億 3100 万ユーロに上り、2014 年度上半期と比べて+52.8%と急拡大しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+28.8%）。

*
* *

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities（債券・為替・コモディティ）

² 2014 年度第 2 四半期に導入された FVA の影響を除く。

³ 2014 年度第 2 四半期に導入された FVA の影響を除くと+19.6%。



コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に+2億7300万ユーロに上り、これに対し前年同期の営業収益は-6100万ユーロでした。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、合計+8000万ユーロが特に寄与していました（対して、前年同期の影響額は合計-1億8700万ユーロ）。加えて、BNPパリバ・プリンシパル・インベストメンツによる業務活動が安定的な成長を持続したことから、当四半期に非常に高い貢献がありました。

当四半期の営業費用は3億6700万ユーロとなり、これに対し前年同期は3億4000万ユーロでした。当四半期の営業費用には、Simple & Efficient計画に関わる変革費用として1億5400万ユーロ（前年同期は1億9800万ユーロ）に加え、2014年度に実施した買収に関わる事業再編費用として6300万ユーロ（前年同期は900万ユーロ）が反映されていました。

リスク費用は当四半期に-2400万ユーロとなり、これに対し前年同期は相殺後で900万ユーロの貸倒引当金戻入益が計上されました。

営業外損益は当四半期に4億2500万ユーロの利益となり、これに対し前年同期は3300万ユーロの利益でした。当四半期の営業外損益にはとりわけ、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲイン+5600万ユーロに加え、合併後のクレピエール＝コリオに対する持分の一部を売却したことによる譲渡益+3億6400万ユーロが反映されていました。

なお、特定のドル資金決済に関わる協議の末、米司法当局との包括的和解を受けて、グループは2014年度第2四半期に、総額59億5000万ユーロ（内訳は、罰金に充当するために57億5000万ユーロ、および、是正計画に関わる将来の費用に備えて2億ユーロ）に上る一時費用を計上したことは留意に値します。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に+3億700万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は-63億900万ユーロでした。

2015年度上半期において、コーポレート・センターの営業収益は+4億1000万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は+2億4200万ユーロでした。当上半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、合計+1億1700万ユーロが含まれていました（対して、前年同期の影響額は合計-2億5100万ユーロ）。これに加え、BNPパリバ・プリンシパル・インベストメンツからも高い貢献がありました。なお、コーポレート・センターの2014年度上半期営業収益には、投資有価証券の売却による一過性の譲渡益が+3億100万ユーロ含まれていました。

営業費用は当上半期に9億2300万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は5億8000万ユーロの低い水準でした。当上半期の営業費用にはとりわけ以下の要因が影響していました：(i) 破綻処理基金への初回拠出金として2億4500万ユーロ¹を計上（なお、IFRIC解釈指針第21号「賦課金」の解釈に基づき、2015年度に必要と推定される拠出金の全額を当上半期に計上）；(ii) Simple & Efficient計画に関わる変革費用2億6400万ユーロ（前年同期は3億4000万ユーロ）；(iii) 2014年度に実施した買収に関わる事業再編費用8300万ユーロ（前年同期は900万ユーロ）。

当上半期のリスク費用は-2200万ユーロとなりました（前年同期は-1100万ユーロ）。

営業外損益は当上半期に5億1900万ユーロの利益となりましたが、これに対し前年同期は4600万ユーロの利益でした。当上半期の営業外損益にはとりわけ、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲインとして+1億2300万ユーロに加え、合併後のクレピエール＝コリオに対する持分の一部を売却したことによる譲渡益として+3億6400万ユーロが反映されていました。さらに、非戦略的投資先に対する持分の売却により生じた譲渡益のうち、コーポレート・センターに配分された2000万ユーロ²も当上半期に寄与しました。

¹ フランスのシステミックリスク税通減分相殺後の推定値。

² 9400万ユーロに上るキャピタルゲインのうち、7400万ユーロをCIBのコーポレートバンキング部門へ配分し、残る2000万ユーロはコーポレート・センターへ配分。



なお、特定のドル資金決済に関わる協議の末、米司法当局との包括的和解を受けて、グループは 2014 年度第 2 四半期に、総額 59 億 5000 万ユーロ（内訳は、罰金に充当するために 57 億 5000 万ユーロ、および、是正計画に関わる将来の費用に備えて 2 億ユーロ）に上る一時費用を計上したことは留意に値します。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当上半期に -1600 万ユーロとなりましたが、これに対し 2014 年度上半期には -62 億 5300 万ユーロが計上されました。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹は、2015 年 6 月末現在で 10.6%に達し、2015 年 3 月末の水準から 30bp 上昇しました。これには主に以下の要因が寄与していました：すなわち、45%の配当性向を前提とした当四半期の純利益からの貢献（+20bp）に加え、カウンターパーティ・リスクへのエクスポージャーに重点を置きリスク加重資産を圧縮したこと（+10bp）が挙げられます。一方、エクイティ Tier 1 比率に対する為替および金利動向からの影響は限定的でした。

バーゼル 3 基準全面適用のレバレッジ比率²は Tier 1 資本³全部に基づき算定されますが、同比率は 2015 年 6 月末現在で 3.7%となり、2015 年 3 月末の水準から 30bp 上昇していました。これにはとりわけ、キャピタルマーケット業務においてレバレッジ・エクスポージャーを圧縮したことが寄与しました。

バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率およびレバレッジ比率の推移は、グループが内部留保により着実に自己資本を積上げる能力を有していること、および、規制変更に対応してバランスシートを管理する能力を有していること証明しています。

グループの即時利用可能な余剰資金は、2015 年 6 月末現在で 2900 億ユーロに上りました（対して、2014 年 12 月末現在は 2910 億ユーロ）。これは短期資金調達との関係で 1 年以上の余裕資金があることを意味します。

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則 Regulation (EU) No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う。

² 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

³ 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定。



*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「当期純利益が 26 億ユーロ近くに上ったことが示すように、BNP パリバは、当四半期に極めて良好な業績を収めました。営業収益は全ての事業部門で増収を果たしました。国内市場部門では増収が持続し、また、専門的業務部門、ユーロ圏外のリテールバンキング、および大口顧客業務の高い伸びがこれを支えました。

グループのバランスシートは盤石です。また、バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率が当四半期に 10.6%へと大きく上昇したことは、内部留保を通してグループが着実に自己資本を積上げていることを証明するものです。

この場を借りて、当四半期の業績を可能にすべく専念した BNP パリバの全従業員に感謝の意を述べるとともに、グループにとって非常に大切な信頼を寄せてくださる個人、法人そして金融機関の顧客の皆様にも謝意を表したいと思えます。」



連結損益計算書

	2Q15	2Q14	2Q15 / 2Q14	1Q15	2Q15/ 1Q15	1H15	1H14	1H15 / 1H14
(単位:百万ユーロ)								
営業収益	11,079	9,569	+15.8%	11,065	+0.1%	22,144	19,480	+13.7%
営業費用および減価償却費	-7,083	-6,368	+11.2%	-7,808	-9.3%	-14,891	-13,161	+13.1%
営業総利益	3,996	3,201	+24.8%	3,257	+22.7%	7,253	6,319	+14.8%
リスク費用	-903	-855	+5.6%	-1,044	-13.5%	-1,947	-1,939	+0.4%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-5,950	n.s.	0	n.s.	0	-5,950	n.s.
営業利益	3,093	-3,604	n.s.	2,213	+39.8%	5,306	-1,570	n.s.
持分法による投資損益	164	138	+18.8%	137	+19.7%	301	241	+24.9%
その他営業外項目	428	16	n.s.	202	n.s.	630	9	n.s.
営業外損益	592	154	n.s.	339	+74.6%	931	250	n.s.
税引前利益	3,685	-3,450	n.s.	2,552	+44.4%	6,237	-1,320	n.s.
法人税	-1,035	-671	+54.2%	-811	+27.6%	-1,846	-1,324	+39.4%
少数株主帰属純利益	-95	-97	-2.1%	-93	+2.2%	-188	-171	+9.9%
株主帰属純利益	2,555	-4,218	n.s.	1,648	+55.0%	4,203	-2,815	n.s.
営業収益対コスト比率	63.9%	66.5%	-2.6 pt	70.6%	-6.7 pt	67.2%	67.6%	-0.4 pt

BNP パリバの 2015 年度第 2 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2015年度第2四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業			ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位:百万ユーロ)							
営業収益	3,878	3,880	3,048	10,806	273	11,079	
	対前年同期比	+2.6%	+20.7%	+15.6%	+12.2%	n.s.	+15.8%
	対前四半期比	+0.6%	+4.0%	-8.9%	-1.1%	+99.3%	+0.1%
営業費用および減価償却費	-2,362	-2,290	-2,064	-6,716	-367	-7,083	
	対前年同期比	+2.3%	+20.7%	+13.3%	+11.4%	+7.9%	+11.2%
	対前四半期比	-9.4%	-3.8%	-8.9%	-7.4%	-34.0%	-9.3%
営業総利益	1,516	1,590	984	4,090	-94	3,996	
	対前年同期比	+3.1%	+20.7%	+20.7%	+13.5%	-76.6%	+24.8%
	対前四半期比	+21.6%	+17.9%	-8.9%	+11.3%	-77.6%	+22.7%
リスク費用	-432	-433	-14	-879	-24	-903	
	対前年同期比	-14.6%	+35.7%	-64.1%	+1.7%	n.s.	+5.6%
	対前四半期比	-11.5%	-6.3%	-85.4%	-16.0%	n.s.	-13.5%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	対前四半期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	1,084	1,157	970	3,211	-118	3,093	
	対前年同期比	+12.4%	+15.9%	+25.0%	+17.3%	-98.1%	n.s.
	対前四半期比	+42.8%	+30.4%	-1.4%	+22.1%	-71.7%	+39.8%
持分法による投資損益	8	128	13	149	15	164	
その他営業外項目	-4	2	20	18	410	428	
税引前利益	1,088	1,287	1,003	3,378	307	3,685	
	対前年同期比	+13.9%	+16.1%	+26.2%	+18.2%	n.s.	n.s.
	対前四半期比	+45.3%	+29.0%	-11.1%	+17.5%	n.s.	+44.4%

	リテールバンキング およびサービス事業			ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位:百万ユーロ)							
営業収益	3,878	3,880	3,048	10,806	273	11,079	
	前年同期	3,780	3,214	2,636	9,630	-61	9,569
	前四半期	3,853	3,729	3,346	10,928	137	11,065
営業費用および減価償却費	-2,362	-2,290	-2,064	-6,716	-367	-7,083	
	前年同期	-2,310	-1,897	-1,821	-6,028	-340	-6,368
	前四半期	-2,606	-2,380	-2,266	-7,252	-556	-7,808
営業総利益	1,516	1,590	984	4,090	-94	3,996	
	前年同期	1,470	1,317	815	3,602	-401	3,201
	前四半期	1,247	1,349	1,080	3,676	-419	3,257
リスク費用	-432	-433	-14	-879	-24	-903	
	前年同期	-506	-319	-39	-864	9	-855
	前四半期	-488	-462	-96	-1,046	2	-1,044
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	前年同期	0	0	0	0	-5,950	-5,950
	前四半期	0	0	0	0	0	0
営業利益	1,084	1,157	970	3,211	-118	3,093	
	前年同期	964	998	776	2,738	-6,342	-3,604
	前四半期	759	887	984	2,630	-417	2,213
持分法による投資損益	8	128	13	149	15	164	
	前年同期	-10	102	25	117	21	138
	前四半期	5	106	8	119	18	137
その他営業外項目	-4	2	20	18	410	428	
	前年同期	1	9	-6	4	12	16
	前四半期	-15	5	136	126	76	202
税引前利益	1,088	1,287	1,003	3,378	307	3,685	
	前年同期	955	1,109	795	2,859	-6,309	-3,450
	前四半期	749	998	1,128	2,875	-323	2,552
法人税							-1,035
少数株主帰属純利益							-95
株主帰属純利益							2,555



2015 年度上半期 - コア事業別業績

		リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
		国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位:百万ユーロ)							
営業収益		7,731	7,609	6,394	21,734	410	22,144
	対前年同期比	+1.9%	+20.5%	+19.7%	+13.0%	+69.4%	+13.7%
営業費用および減価償却費		-4,968	-4,670	-4,330	-13,968	-923	-14,891
	対前年同期比	+1.6%	+20.6%	+13.4%	+11.0%	+59.1%	+13.1%
営業総利益		2,763	2,939	2,064	7,766	-513	7,253
	対前年同期比	+2.6%	+20.4%	+35.7%	+16.7%	+51.8%	+14.8%
リスク費用		-920	-895	-110	-1,925	-22	-1,947
	対前年同期比	-14.3%	+24.5%	-18.5%	-0.2%	+100.0%	+0.4%
米司法当局との包括的和解に関わる費用		0	0	0	0	0	0
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益		1,843	2,044	1,954	5,841	-535	5,306
	対前年同期比	+13.8%	+18.6%	+41.0%	+23.5%	-91.5%	n.s.
持分法による投資損益		13	234	21	268	33	301
その他営業外項目		-19	7	156	144	486	630
税引前利益		1,837	2,285	2,131	6,253	-16	6,237
	対前年同期比	+13.7%	+18.8%	+52.8%	+26.8%	-99.7%	n.s.
法人税							-1,846
少数株主帰属純利益							-188
株主帰属純利益							4,203

連結四半期業績の推移

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
グループ						
営業収益	11,079	11,065	10,150	9,538	9,569	9,911
営業費用および減価償却費	-7,083	-7,808	-6,880	-6,483	-6,368	-6,793
営業総利益	3,996	3,257	3,270	3,055	3,201	3,118
リスク費用	-903	-1,044	-1,012	-754	-855	-1,084
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	3,093	2,213	2,208	2,301	-3,604	2,034
持分法による投資損益	164	137	80	86	138	103
その他営業外項目	428	202	-268	63	16	-7
税引前利益	3,685	2,552	2,020	2,450	-3,450	2,130
法人税	-1,035	-811	-566	-753	-671	-653
少数株主帰属純利益	-95	-93	-77	-102	-97	-74
株主帰属純利益	2,555	1,648	1,377	1,595	-4,218	1,403
営業収益対コスト比率	63.9%	70.6%	67.8%	68.0%	66.5%	68.5%



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く						
営業収益	7,763	7,610	7,476	7,218	6,999	6,903
営業費用および減価償却費	-4,652	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	3,111	2,624	2,777	2,841	2,792	2,349
リスク費用	-865	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	2,246	1,674	1,832	1,998	1,967	1,381
持分法による投資損益	136	111	91	81	92	92
その他営業外項目	-2	-10	-9	21	10	1
税引前利益	2,380	1,775	1,914	2,100	2,069	1,474
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	40.3	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業						
営業収益	7,758	7,582	7,469	7,173	6,994	6,903
営業費用および減価償却費	-4,652	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	3,106	2,596	2,770	2,796	2,787	2,349
リスク費用	-865	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	2,241	1,646	1,825	1,953	1,962	1,381
持分法による投資損益	136	111	91	81	92	92
その他営業外項目	-2	-10	-9	21	10	1
税引前利益	2,375	1,747	1,907	2,055	2,064	1,474
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	40.3	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く						
営業収益	4,017	4,022	3,930	3,927	3,910	3,932
営業費用および減価償却費	-2,426	-2,673	-2,531	-2,437	-2,371	-2,643
営業総利益	1,591	1,349	1,399	1,490	1,539	1,289
リスク費用	-432	-490	-506	-493	-507	-568
営業利益	1,159	859	893	997	1,032	721
持分法による投資損益	9	5	1	-2	-10	4
その他営業外項目	-4	-15	-22	3	1	0
税引前利益	1,164	849	872	998	1,023	725
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-71	-72	-59	-61	-63	-65
国内市場部門税引前利益	1,093	777	813	937	960	660
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	18.6	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,878	3,853	3,801	3,759	3,780	3,804
営業費用および減価償却費	-2,362	-2,606	-2,469	-2,376	-2,310	-2,580
営業総利益	1,516	1,247	1,332	1,383	1,470	1,224
リスク費用	-432	-488	-505	-491	-506	-568
営業利益	1,084	759	827	892	964	656
持分法による投資損益	8	5	1	-3	-10	4
その他営業外項目	-4	-15	-22	3	1	0
税引前利益	1,088	749	806	892	955	660
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	18.6	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *						
営業収益	1,672	1,655	1,651	1,671	1,707	1,720
うち受取利息純額	969	943	984	981	1,030	1,006
うち手数料	703	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,071	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	601	525	482	536	635	585
リスク費用	-87	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	514	436	376	451	532	477
営業外損益	1	1	0	2	0	1
税引前利益	515	437	376	453	532	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-44	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	471	396	344	416	497	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く						
営業収益	1,677	1,683	1,658	1,716	1,712	1,720
うち受取利息純額	974	971	991	1,026	1,035	1,006
うち手数料	703	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,071	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	606	553	489	581	640	585
リスク費用	-87	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	519	464	383	496	537	477
営業外損益	1	1	0	2	0	1
税引前利益	520	465	383	498	537	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-44	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	476	424	351	461	502	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,597	1,580	1,587	1,604	1,641	1,648
営業費用および減価償却費	-1,039	-1,097	-1,137	-1,104	-1,042	-1,102
営業総利益	558	483	450	500	599	546
リスク費用	-87	-88	-106	-85	-102	-108
営業利益	471	395	344	415	497	438
営業外損益	0	1	0	1	0	1
税引前利益	471	396	344	416	497	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)*						
営業収益	791	802	798	790	813	818
営業費用および減価償却費	-439	-453	-458	-424	-431	-456
営業総利益	352	349	340	366	382	362
リスク費用	-318	-321	-322	-348	-364	-364
営業利益	34	28	18	18	18	-2
営業外損益	0	-1	0	0	0	0
税引前利益	34	27	18	18	18	-2
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-11	-10	-7	-7	-8	-7
BNL バンカ・コメルシアーレ税引前利益	23	17	11	11	10	-9
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.3	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	772	783	783	774	797	804
営業費用および減価償却費	-431	-444	-450	-416	-423	-449
営業総利益	341	339	333	358	374	355
リスク費用	-318	-321	-322	-347	-364	-364
営業利益	23	18	11	11	10	-9
営業外損益	0	-1	0	0	0	0
税引前利益	23	17	11	11	10	-9
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.3	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング(ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む)*						
営業収益	891	894	875	846	822	842
営業費用および減価償却費	-564	-728	-573	-572	-564	-725
営業総利益	327	166	302	274	258	117
リスク費用	-2	-33	-28	-36	-15	-52
営業利益	325	133	274	238	243	65
持分法による投資損益	5	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-4	-13	-23	3	1	0
税引前利益	326	120	254	245	245	66
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-14	-20	-19	-17	-19	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	312	100	235	228	226	49
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング(ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	854	850	834	808	782	803
営業費用および減価償却費	-541	-705	-552	-552	-543	-703
営業総利益	313	145	282	256	239	100
リスク費用	-2	-32	-27	-35	-15	-52
営業利益	311	113	255	221	224	48
持分法による投資損益	5	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-4	-13	-23	3	1	0
税引前利益	312	100	235	228	226	49
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*						
営業収益	658	643	599	575	563	552
営業費用および減価償却費	-352	-362	-331	-306	-304	-327
営業総利益	306	281	268	269	259	225
リスク費用	-25	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	281	234	218	245	234	181
持分法による投資損益	3	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	0	-1	1	0	0	0
税引前利益	284	237	217	237	223	183
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-2	-1	-1	0	-1	-2
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門税引前利益	282	236	216	237	222	181
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	655	640	597	573	560	549
営業費用および減価償却費	-351	-360	-330	-304	-302	-326
営業総利益	304	280	267	269	258	223
リスク費用	-25	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	279	233	217	245	233	179
持分法による投資損益	3	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	0	-1	1	0	0	0
税引前利益	282	236	216	237	222	181
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国際金融サービス部門						
営業収益	3,880	3,729	3,668	3,414	3,214	3,099
営業費用および減価償却費	-2,290	-2,380	-2,230	-2,001	-1,897	-1,974
営業総利益	1,590	1,349	1,438	1,413	1,317	1,125
リスク費用	-433	-462	-440	-352	-319	-400
営業利益	1,157	887	998	1,061	998	725
持分法による投資損益	128	106	90	84	102	88
その他営業外項目	2	5	13	18	9	1
税引前利益	1,287	998	1,101	1,163	1,109	814
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	21.7	21.1	19.4	19.0	18.9	18.7

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,182	1,183	1,154	1,089	933	927
営業費用および減価償却費	-571	-591	-575	-501	-440	-446
営業総利益	611	592	579	588	493	481
リスク費用	-289	-291	-292	-276	-249	-278
営業利益	322	301	287	312	244	203
持分法による投資損益	15	17	35	12	23	13
その他営業外項目	2	-2	-5	15	6	0
税引前利益	339	316	317	339	273	216
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *						
営業収益	658	600	622	543	491	448
営業費用および減価償却費	-410	-454	-424	-350	-344	-349
営業総利益	248	146	198	193	147	99
リスク費用	-108	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	140	-5	62	127	98	-7
持分法による投資損益	42	42	24	24	28	26
その他営業外項目	-2	1	2	1	1	0
税引前利益	180	38	88	152	127	19
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	0	-1	0	0	-1	0
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	180	37	88	152	126	19
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	4.4	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5

(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	656	598	620	541	489	447
営業費用および減価償却費	-408	-453	-422	-348	-343	-348
営業総利益	248	145	198	193	146	99
リスク費用	-108	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	140	-6	62	127	97	-7
持分法による投資損益	42	42	24	24	28	26
その他営業外項目	-2	1	2	1	1	0
税引前利益	180	37	88	152	126	19
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	4.4	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *						
営業収益	728	664	612	566	537	514
営業費用および減価償却費	-465	-475	-388	-353	-336	-366
営業総利益	263	189	224	213	201	148
リスク費用	-16	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	247	170	207	207	185	137
持分法による投資損益	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	1	3	-1	1	1	3
税引前利益	248	173	206	208	186	140
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-2	-2	-3	-2	-2	-1
バンクウェスト税引前利益	246	171	203	206	184	139
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2
(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	719	655	604	559	531	508
営業費用および減価償却費	-458	-468	-383	-348	-332	-361
営業総利益	261	187	221	211	199	147
リスク費用	-16	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	245	168	204	205	183	136
営業外損益	1	3	-1	1	1	3
税引前利益	246	171	203	206	184	139
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2
(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
保険						
営業収益	557	570	577	538	535	530
営業費用および減価償却費	-274	-305	-279	-262	-253	-287
営業総利益	283	265	298	276	282	243
リスク費用	-4	0	1	-4	-1	-2
営業利益	279	265	299	272	281	241
持分法による投資損益	56	39	17	37	33	37
その他営業外項目	1	0	0	-1	0	-2
税引前利益	336	304	316	308	314	276
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.6	6.6	6.3	6.2	6.2	6.1
(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ウェルス&アセット・マネジメント						
営業収益	766	723	713	687	726	687
営業費用および減価償却費	-579	-563	-571	-542	-529	-532
営業総利益	187	160	142	145	197	155
リスク費用	-16	-1	4	0	-4	-3
営業利益	171	159	146	145	193	152
持分法による投資損益	15	8	14	11	18	12
その他営業外項目	0	3	17	2	1	0
税引前利益	186	170	177	158	212	164
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位:百万ユーロ)	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ホールセールバンキング事業						
営業収益	3,048	3,346	2,437	2,519	2,636	2,705
営業費用および減価償却費	-2,064	-2,266	-1,796	-1,809	-1,821	-1,999
営業総利益	984	1,080	641	710	815	706
リスク費用	-14	-96	-29	88	-39	-96
営業利益	970	984	612	798	776	610
持分法による投資損益	13	8	16	0	25	-4
その他営業外項目	20	136	4	-1	-6	-6
税引前利益	1,003	1,128	632	797	795	600
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	17.7	17.0	16.0	15.8	15.8	16.0
コーポレートバンキング						
営業収益	959	920	965	856	924	788
営業費用および減価償却費	-568	-584	-537	-484	-489	-519
営業総利益	391	336	428	372	435	269
リスク費用	55	-74	-26	68	-51	-122
営業利益	446	262	402	440	384	147
その他営業外項目	41	132	8	0	18	-12
税引前利益	487	394	410	440	402	135
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	8.6	8.5	7.7	7.6	7.6	7.6
グローバルマーケット						
営業収益	1,613	1,986	1,084	1,261	1,296	1,546
うち FICC	992	1,266	790	878	788	963
うち株式およびプライムサービス	621	720	294	383	508	583
営業費用および減価償却費	-1,131	-1,333	-913	-998	-1,024	-1,173
営業総利益	482	653	171	263	272	373
リスク費用	-73	-22	-6	19	11	26
営業利益	409	631	165	282	283	399
持分法による投資損益	-7	13	9	-1	7	7
その他営業外項目	0	-1	-5	0	-6	-5
税引前利益	402	643	169	281	284	401
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	8.5	8.0	7.7	7.7	7.7	7.9
証券管理						
営業収益	476	440	388	402	416	371
営業費用および減価償却費	-365	-349	-346	-327	-308	-307
営業総利益	111	91	42	75	108	64
リスク費用	4	0	3	1	1	0
営業利益	115	91	45	76	109	64
営業外損益	-1	0	8	0	0	0
税引前利益	114	91	53	76	109	64
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



(単位:百万ユーロ)

	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
コーポレート・センター						
営業収益	273	137	244	-154	-61	303
営業費用および減価償却費	-367	-556	-385	-297	-340	-240
うち事業再編および変革費用	-217	-130	-254	-154	-207	-142
営業総利益	-94	-419	-141	-451	-401	63
リスク費用	-24	2	-38	1	9	-20
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	-118	-417	-229	-450	-6,342	43
持分法による投資損益	15	18	-27	5	21	15
その他営業外項目	410	76	-263	43	12	-2
税引前利益	307	-323	-519	-402	-6,309	56



力強い利益成長および内部留保による着実な自己資本の積上げ	2
リテールバンキングおよびサービス事業	4
国内市場部門	4
国際金融サービス部門	8
ホールセールバンキング事業 (CIB)	12
コーポレート・センター	14
財務構造	15
連結損益計算書	17
2015 年度第 2 四半期 – コア事業別業績	18
2015 年度上半期 – コア事業別業績	19
連結四半期業績の推移	20

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2015 年 3 月 24 日に、BNP パリバは 2014 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には、グループの事業部門の新組織体制、および IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の適用が特に反映されています。本プレゼンテーションは、適宜、公表済みのあるいは修正された 2014 年度の財務データに基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。